

件名	第5回松崎地域駅前活性化協議会
日時	2017年8月28日(月)19:00~20:30
場所	湯梨浜町中央公民館1階会議室
出席者 (敬称略)	速水、本庄、山根、澤、谷口、上治、遠藤、立木、河井、河本、高野、北村 湯梨浜町役場 山根副町長、嶋田、地域おこし協力隊 伊藤、辺(記録)
決定事項 (合意事項)	
次回までの 調整事項	
配布資料	協議会レジュメ

(会長)今まで上げられた重点テーマの中で自分たちが中心となって進められることについて皆さんのご意見をいただきたい。事前にご意見をいただいた方のものを資料として配布している。まずそれらをご紹介するので、ご意見いただきたい。

(案①委員)助け合いやコミュニティづくりが重要：松崎自主防災会が取り組む防災強化に、協議会としても一緒に参加し、松崎全域の支え合いコミュニティを構築、継続できるように進める。

(委員)1区~旭までそれぞれ青年部等の組織が活動している。以前は、松崎の公園のところで毎週土曜日に「おたのしみ夜市」を開催していたが今年は出来ていない。だから、Aコープの跡地の中で出来るのではないかという話が挙がった。レトロな街づくりにしても、まずは拠点が必要だと思う。倉吉だと琴桜記念館のような拠点があって、松崎でも拠点を中心に歩いてもらった方がよく分かるのかなと思う。

(案②委員)震災・大雪をきっかけに、地域コミュニティの活性化を狙うのはよいと思う。年配の方から子どもまでタテヨコでつながっていける地域の関係性を目指したい。

(案③委員)松崎の歴史や町並みを勉強して、町を案内するボランティアになってみたい。松崎の歴史や町並みを勉強して案内役ができればと思っている。

(案④委員)松崎駅周辺の活性化をする上で、駐車場のスペースがないと伺ったので、あるものを活かしたい。駅周辺を活用して、「屋台村」のようなものをつくと意外と盛り上がるのではないかなと思って提案した。

(案⑤委員)駅舎が無人化になり空いている。観光案内所も羽合に移り、役場が管理していると聞いた。観光案内所と書いているので、よく観光客は中に入る。パンフレットなどの整備を依頼したが、まちまちになっているので、ちゃんと活用できればいいなと思う。駅舎は、活用するために多額の金額が必要だと聞いた。周辺が寂しく、倉吉駅では梨を駅前に整備しているのでいいなと思った。せっかくの梨の名産をみんなでPRできればいいな、賑やかになればいいなと思う。足湯など予算的な問題で何もできないので、小さなことからでもみんなの手で進めて行きたい。

(案⑥委員)駅前を魅力的にしたい。見た目の印象と立ち寄りやすさを大切にしたいと考えている。駅や公園などの施設を何とかよくしたい。(単純に新しくするという意味ではなく)

#### ■足湯について

(委員)協議会に対する町の姿勢が知りたい。Aコープ、まちづくりに関して買い物・情報発信・交流の場・温泉とコンセプトがあったが、足湯は金額の問題で出来ないことになった。ただ、金額をどういう風に工夫すればいいのかの検討をしていない。何をすることもお金がかかるのだから、町の協力を得ることが出来るのかどうかを知りたい。ここで話をしても、最初から切られてしまう。活性化というのは、CCRCだけでなく町全体の話なので、そういうところでどう協力をしてもらえるの

かが分からなくては、提案できない。役場も長期的な目線でしっかり検討していただけないと、提案ができない。

(事務局) つい最近も温泉管理組合と相談したが、回答は、管理組合の規約のなかで温泉は「入浴用」となっていて、足湯に利用することは規約外になる。よって、入浴用にタンクに入れて余った分を足湯に活用するのであれば可能だと言われた。そうすると、近くにある温泉施設と競合することになる。羽合は温泉組合が管理するが、誰が管理するのかというところも問題になってくる。温泉を作るのは、地方創生予算では難しいということだし、施設の維持にかかる費用もどこが出すのか問題だ。

(委員) 維持にかかる費用は清掃代だけだ。初期費用だけであとは利用分だけを支払うのみ。鯉の湯が必要なのかも検討しなくてはいけない。

(委員) 今ある足湯がどう運営されているのかが知りたい。

(委員) Aコープのところを交流の場として盛り上げるのであれば、具体的に費用などがどうなっているのか書面で示していただきたい。

(委員) めぐみの湯は長和田、松崎の鯉の湯は旅館組合が清掃している。

(委員) 鯉の湯は、東郷温泉組合が町村合併時に余っていた予算を町に寄付したことで整備された。

(委員) 長和田の方は県のプロジェクトの一環で温泉スタンド、足湯を作った。温泉スタンドは行政が絡んでいる。松崎地区の分は、学習塾裏に元湯があって、公園の中やAコープのところにも循環しているの、みんな権利を買って家に引いている。管の太さにもよるが、16500円/月でかけ流しになっている。新しい建物ができてお試し住宅をつくるのであれば、そこに温泉を整備して、残り湯で足湯にすればいいのではないか。

(委員) もうちょっと踏み込んで、町側で試算いただきたい。

(委員) 温泉組合と、もう少し交渉ができるはずだ。澤の湯に相談すればいい。

(事務局) 交渉して300万といわれたし、足湯だけでなく浴室もつくるように言われた。

#### ■Aコープ関連(映像、イベント)

(委員) 私としてはAコープの中に映像スペースを作るといっていたが、情報発信や観光に関する情報として、ユーチューブなどで挙がっている映像を活用して発信すればいいと思う。

(事務局) 観光案内・総合相談センター側に観光・情報発信する場を整備する。

(委員) Aコープの方でも映像を流すと聞いているのでそこで流せばいいと思う。

(委員) 何をやるにしても、とっかかりに資金が必要になる。今回の青年部のイベントがなくなったのも、資金の問題があったからだ。イベントするにしても、購入するにしても金額を誰が最後まで責任を持つのかというところで止まってしまう。

(委員) 活性化に向けた資金援助があってもいいのではないかと声だと思ふ。人としてボランティアとして動く体制は出来ている。

(委員) 援助ではない、協働、連携が必要だということだ。

(事務局) 実際にこういうことをする、という話が具体化してきたときに予算化していくことになると思ふ。

(委員) 補助金には基本的に制約があるはずだ。その制約が見えないと検討も出来ない。これなら予算が出る、出ないということが見えてくれば考えながら進められると思う。提案して具体的に話をすすめた時に、無理だと言われると困る。

(委員) 意見を言って言いつばなしとなると困る。資金について、なんでもない、ないと言われては何も提案できない。

(委員) 「湯梨浜町と連携し」と規約にある。資金やノウハウなどは町にからんでもらわなくてはいいな

い。

(委員) イベントをするにしても、それぞれの青年会が運営するための資金はつくるが、基本的な資金(看板など)は誰が払うのかというところでストップしてしまう。

(委員) 地方創生の財源があったと聞いているが、協議会はいくまでもプランナーであり、活動する会ではないはずだ。

(事務局) 規約にあるが、課題を協議会で出してもらい、計画の段階で町や会社が出てくる→自分ができることはする、とある。

(委員) いくまでもこれからの話合いは、町と連携してということで動いて行かなくてはいけない。

(委員) イベントについて、協議会がするのではなく、稼がなくてはいけない。テナント的な考えだ。

(委員) 実際Aコープの周りでも店舗があって、飲み屋と提携して飲み歩くというイベントなどもあるが、そのための基本資金をどうするのかということが問題だ。協議会は考えるだけのチームなのか、どこかが運営するのか。

(委員) 売れる商品ができればそれを売った資金で動くことができるが、そこに至るまでどうするのか、分からない。

(委員) 屋台村についてまちづくり会社がAコープで行うことについてどう思うか。

(事務局) まちづくり会社だけでなく、地域の方にもご協力いただかなくてはならないと思う。

(委員) Aコープの中を使うことが出来ればイベントなんかはすぐにできる。イベントは出店料をもらってすればいい。1回/月開催することを続けければ意識付けをしていかななくてはいけない。子供たちを相手にするのであればDVDを使ったりして集客できる。イベントしても子どもが来なければ親も来ない。

#### ■その他

(委員) 防災について、それはとても重要な項目ではあるが、「地域の活性化」と言えば町の顔をつくるイメージだ。

(委員) 活動としてはインパクトが少ないということか。

(委員) 重要な項目ではあるので、することに異論はない。

(委員) 駅の周りに花とか考えていたが、目にみえる形で取り組みたい。

(委員) 駅前の植木を移動することは出来るのか。

(委員) 松崎こうしょう同志会が戦後に作った公園で、水郷祭にもゆかりがあるため、撤去は出来ない。

(委員) 管理は誰がしているのか。

(委員) 分からない。

(委員) 観光案内所もキレイにしたいと思っていて、以前はテーブルもあって学生が勉強したりしていた。

(委員) 商工会で物販できないかと観光案内所を借りたが物販は無理だと言われてしまった。パンフレット等おいていたが、タバコ吸ったりする学生がいたので、撤去してしまった。テーブル自体は、公園にあるので移動できるが、鍵がないので、夜に管理できない。

(会長) 協議会の取り組みとして検討して行こう。それでは、①防災の関係、②駅周辺の整備、③足湯、④Aコープを活用したイベント、⑤情報発信について、今後班分けをし検討していきたい。

次回：9月28日19:00～中央公民館